

【教科・学年・科目】国語 3年 現代文B

【授業者・問い合わせ先】赤松 幸紀 kakamats@sgh-tsukuba.org

【授業形態】ライブ配信 テキストベース

【授業の紹介】

3年次の「現代文B」は選択履修科目として設定されている。例年と同様に約40名が履修している今年度は、約10名ずつの4クラスに分けて授業が開講されており、筆者はそのうち2クラスを担当している。

現在は、多くの情報を整理しながら読む力を養うため、森鷗外の小説「舞姫」を教材にした単元を展開している。“言葉で伝え合う技能を磨く”という年間目標の下、平時と同じく生徒同士の意見交換の活動を重視した指導を行うようにしている。

テキストベース課題の配信

休校期間の初めに、年間の授業の目標や方針、各単元で特化する言語活動等についての説明文書を Google Classroom 上で配信し、課題として生徒に熟読してもらった上で、「限定公開コメント」欄を通じて質疑応答を行った。科目そのものや授業の進め方のイメージを最初に開陳し、生徒と共有しておけば、オンラインに限定された形態とはいえ、その後の意思疎通が円滑に進められるのではないかと考えたのである。

平時の授業と同じような生徒同士の意見交換を、Zoom のブレイクアウト・セッションで実現しようと考えた。しかし、生徒からすると、提示されたばかりの問題について即座に Zoom 上で意見交換を行うのは難しいということが、事前の実験を通して判明した。そこで、PDF 形式の「学習プリント」を授業の数日前に配信しておき、生徒に個々で解答を考えてもらった上で、意見を持ち寄る場としての授業を Zoom で実施することにした。

Zoom を使用したライブ配信授業

Zoom を使用した授業では、授業展開の見通しや発問の内容を視覚的に示すために MS Power Point のスライドを画面上で共有している。

生徒4～5名で行うブレイクアウト・セッションの内容はその都度口頭で報告してもらっているが、個々の生徒がどのように考えを深めたのかを確認するため、意見交換をふまえて改めて考えた解答を Google フォームに入力して送信してもらっている。解答に幅がある問題については、生徒の解答を集約した文書ファイルを作成し、参考資料として配信するつもりでいる。

本時の流れ

9:00～9:05	接続・動作確認、出欠確認 (マイク及びカメラへのアクセスを許可してください)
9:05～9:10	本時の目標の確認、アイス・ブレイク (ここで一旦マイクを「ミュート」にしてください)
9:10～9:20	ブレイクアウト・セッション①(及びその内容報告)
9:20～9:30	ブレイクアウト・セッション②(及びその内容報告)
9:30～9:40	ブレイクアウト・セッション③(及びその内容報告)
9:40～9:45	全体での質疑応答、次回以降の予告

↑スライド例↓

ブレイクアウト・セッション②

学習プリント(二)①

教科書294頁2行目から11行目までを読む限り、「余」は自身をどのような人物と認識しているか。簡潔にまとめなさい。

先ほどとは異なるメンバー(3～4人)で意見交換をしてもらいます。制限時間は5～7分間です。グループに分かれたらまず互いあいさつをして、意見交換を始めてください。

終了後、グループの代表者に意見交換の内容を簡単に報告してもらいます。